

ぎふ感染症かわら版

令和3年12月3日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



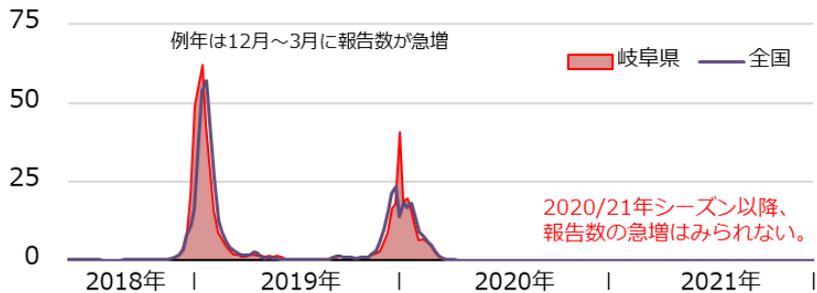
インフルエンザの感染予防について

例年、インフルエンザは12月～3月が流行シーズンです。しかし2020/21年シーズンは、流行がみられず、現在のところ、今シーズンも流行の兆しはみられません。その原因は、新型コロナウイルス感染症への予防対策の効果が大きいと考えられています。この状況が維持されるよう、日常生活における感染症への予防対策を再度ご確認ください。

どんな病気？

インフルエンザウイルスによる感染症です。**発熱、咳、頭痛、関節痛**などが急にあらわれ、ふつうの風邪よりも**全身の症状が強い**のが特徴です。

インフルエンザの1医療機関あたりの患者数の推移



注：岐阜県は県内87の医療機関からの週ごとの報告
全国は約5,000カ所の医療機関からの週ごとの報告

感染への注意が特に必要な人

◆ 小児、高齢者 及び 持病をお持ちの方



どうやってうつるの？ 予防方法は？

感染している人の咳やくしゃみによる**飛沫感染**や、ウイルスの付いた手指などを介した**接触感染**によってうつります。予防のためには、手洗いや咳エチケットなど、一人ひとりの心がけが大切です。



かからないために

- 外出後は**手洗い**を徹底する
- **栄養と睡眠**を十分にとる
- 部屋の中は**適度な湿度**を保つ
- **3密を避け、マスク**を着用する
- **ワクチン接種**



ワクチンは、感染しても症状が出るのを抑えたり、症状が出ても重くなるのを防ぐ効果があります。



ほかの人にうつさないために

- 熱や咳などの症状がでたら**早めに受診**する
- インフルエンザと診断されたら**安静にして休養**する
- **マスク**を着用し、**咳エチケット**を守る



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

